

たなばた よる あま がわ わた ねん いちど  
七夕は、7月7日の夜に、天の川を渡って年に一度だけ

あ ゆる ひこぼし おいひめ はなし ちゅうごく  
会うことを許された「彦星」と「織姫」のお話で、中国から

つた ひ ねが ごと か たんざく ささ は  
伝わりました。この日は、願い事を書いた短冊を笹の葉に

かざ つ はたお いと み た た  
飾り付け、機織りの糸に見立てたそうめんを食べる

しゅうかん  
習慣があります。



きゅうしょく つか じる  
給食では、うなぎを使ったちらしずしやそうめん汁、

デザートにはバターフライピーという青いお茶で色をつけ

あま がわ み た  
て天の川に見立てたゼリーです。





うなぎちらし、とうもろこし、<sup>じる</sup> <sup>あま</sup> <sup>がわ</sup>そうめん汁、天の川サイダーゼリー